特定小電力トランシーバー

DJ-P21(S/B)

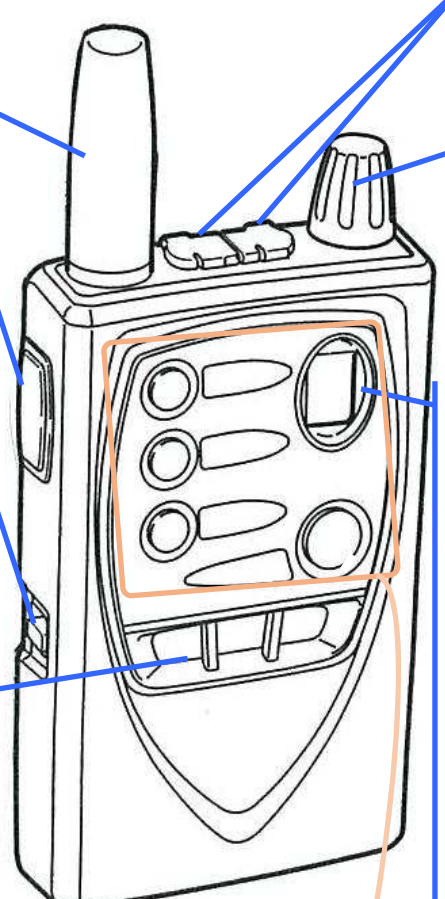
S:シルバーボディー/ショートアンテナ
B:ブラックボディー/ロングアンテナ

簡易マニュアル

交互通話用チャンネル設定

イヤホン/マイク端子
イヤホンマイクやスピーカーマイクを接続する端子です。

アンテナ
アンテナは外れません。

ダイヤル
[音量/セットモード]キー
ダイヤルを回してチャンネルの変更、押して音量調整を行います。

PTT(送信)ボタン
押しながら話します。
ボタンを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

電源キー
上方向にスライドさせると電源が入ります。
下方向にスライドさせると電源が切れます。

マイク/スピーカー
マイクは口元と少し離してお話し下さい。

ディスプレイ
チャンネルや音量など各種設定内容が表示されます。

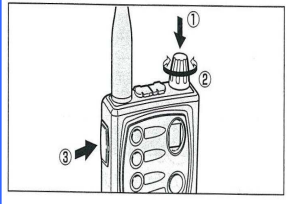
トランシーバーモードなどの単信通話時　単信チャンネル：レジャー9CH+ビジネス11CH

	チャンネル番号 従来機でのチャンネル表示	チャンネル番号 本機でのチャンネル表示
レジャータイプ 9チャンネル	1 〜 9	1 〜 9
ビジネスタイプ 11チャンネル	1 〜 9 10 11	ポインタ+1 〜 ポインタ+9（ポインタ点灯） ポインタ+0 ポインタ+11

（例）ディスプレイの「ポインタ」と「1」が同時に点灯すると、ビジネス1チャンネルを意味します。

①ダイヤルを押します。
→「v」→「o」→「L」→「音量値」が表示されます。

②ダイヤルを回して音量値を調整します。
→表示中にダイヤルを回すと、音量が増減できます。音量値は30段階（0〜29）で増減できます。

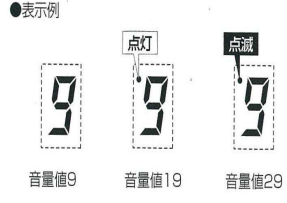
③希望の音量値を選択したら、PTTキーを押します。
→通常の受信待ち受け状態に戻ります。

音量表示

段階	0〜9	10〜19	20〜29
表示	0〜9	ポインタ+0 〜 ポインタ+9 (ポインタ点灯)	ポインタ+0 〜 ポインタ+9 (ポインタ点滅)

●表示例

音量値9

音量値19

音量値29

[トーン]キー/[1]キー
トーン（9種類のグループコード）送出のON/OFF設定をします。Fキーを押した後、トーンキーを押します。
他のトーンスケルチ付きトランシーバーとの通信やレピーターにアクセスする時に使用します。
パーソナルモードではメモリー番号（1）として使用します。

[コード]キー/[2]キー
コードスケルチ機能のON/OFF設定をします。Fキーを押した後、コードキーを押します。
パーソナルモードではメモリー番号（2）として使用します。

[モニター]キー/[3]キー
受信中相手の声が途切れる時に使用します。
モニターキーを押している間はスピーカから音が聞こえます。
パーソナルモードではメモリー番号（3）として使用します。

[F]キー（ファンクションキー）/[ロック]キー
トーン設定、コード設定、セットモードの開始に使用します。
約1秒間押し続けるとキーロックができます。
再度押し続けるとキーロックが解除されます。

設定状態がわからなくなったときは・・・
リセット（初期化）をする。

① 電源キーを下方向にスライドして電源を切ります。
② Fキーを押しながら電源キーを上方向にスライドして電源を入れます。
③ ディスプレイ表示が「-」の時にFキーを離すと、工場出荷状態(初期化)します。